

令和4年9月29日

報道機関各位

熊本大学

夏目漱石の直筆手紙の寄贈について

この度、熊本大学名誉教授三井^{よしゆき}宜之氏より、夏目漱石自筆の手紙・封書が、熊本大学五高記念館に寄贈されることとなりました。

この手紙・封書は、寄贈者の祖父である三井大作氏が夏目漱石から宮崎県立都城中学校（現宮崎県立都城泉ヶ丘高校）の教諭として同校校長に推薦を受けたことに関連するもので、漱石の教師としての一面をみることができる貴重な資料です。

手紙の内容は、『漱石全集二十二卷（書簡上）』（岩波書店、1998年刊）に、「明治38年書簡421」として収録されています。漱石は同年1月に発表した処女作「吾輩は猫である」が好評を博し、小説家としての将来に手応えを得たこともあり、手紙の筆蹟にも筆勢が感じられるものです。

なお、三井大作氏は1905(明治38)年5月から1908(明治41)年3月までの約3年間、宮崎県立都城中学校（現宮崎県立都城泉ヶ丘高校）の教諭として在籍しました。

寄贈者の三井宜之氏は、熊本大学在職中に同大学ボート部長を、また熊本県ボート協会会長等を務められました。漱石が五高に勤務していた時、江津湖で行われたボートレースで活躍した様子を、専門家の目線で分析した文章を発表しておられます。（『漱石の記憶』熊日出版、2018年刊）

今回寄贈いただく資料は、今後、夏目漱石や明治期の教育についての展示や研究に活用していく予定です。

つきましては、下記のとおり贈呈式（寄贈式）を行いますので、当日の取材方よろしくお願いたします。

記

【資料名・数量】

手紙・封書（夏目金之助差出 三井大作宛 明治38年4月14日）
1通（額装: 435mm×785mm）

【日時】令和4年10月3日（月）10:30～11:00

【場所】熊本大学五高記念館（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）

【お問い合わせ先】

熊本大学五高記念館
担当：藤本 薄田
TEL：096-342-2050